

必要な設備を検討し、ハード整備の計画に反映、具体化を目指す。

金足農業高校については、昨年12月に同校職員や外部有識者による検討委員会が要望書を提出。実習施設内の十分なスペース確保や秋田市外の出身者が利用

在地周辺でもさらに候補地を検討するとした。早ければ20年度に基本設計、21年度に実施設計をまとめ、最

短なら22年度から2カ年で整備する。新施設は5炉とし、延べ床面積は現施設(延べ698平方メートル)の2倍程度を想定。PFI事業など

市協議会が意見書 小中学校の統合再編

「男鹿市小・中学校の在り方を考える協議会」(会長川浅井繁樹元男鹿南中学校校長は男鹿市に対し、小・

中学校の将来的な再編に関する意見書を提出した。小中学校は6校を2校に、中学校は4校を1校に再編する

の要望ありとし、新校舎の建設も必要としている。同協議会は、学識経験者やPTA関係者、地域の代表などで構成。

の具体的な内容とし、前期(2020)24に北陽小学校を船川第一小学校に統合、男鹿北中を杉を

統北中を杉を里、56・5が受講生、ストリート合格者については8080人中5004人、61・9が受講生だった。

創業以来続ける対面指導型の講義により、映像授業にはない双方のコミュニケーションを重視し、理解度に合わせた適切な個別指導を展開。学習サポートやメンタルサポートなど、受講生を支える体制も充実している。

総合資格学院秋田校

努力の末の合格を祝う

合格祝賀会を開催

総合資格学院秋田校 合格祝賀会



総合資格学院秋田校(伊藤尚学校長)は13日、秋田市の秋田キャッスルホテルで、2019年度の1級、2級建築士の合格祝賀会を開催した。合格者や講師、来賓が喜びを分かち合った。秋田校は、東北6校目の教室として17年10月に開校した。

岸隆司学院長はビデオメッセージで合格者を祝福。本年度の合格実績に触れ「建築士を目指すなら総合資格学院が最短ルートとことしも証明できた。『令和の大改革』の号令の下、これまで以上の合格実績を達成するため、指導体制をさらに強化する」と決意を表明した。また、同学院が今月で創業40周年を迎えることを紹介し、多くの資格者

を輩出してきた歴史を振り返り「合格者ひとりひとりの活躍が、建設業界の発展につながっていることに喜びを感じている」とあいさつした。

伊藤学校長は合格者をねぎらい、「自分の中に強い気持ちがあったから頑張れたことと思う。ここからが勝負と思う。秋田県の建築業界を引っ張ってほしい。当学院は実務に役立つ教材づくりが理念なので、これから教材を使いながら、立派な建築士として活躍してほしい」と激励した。

来賓として出席した秋田県建築士会の淡路孝次会長は、お祝いを述べるとともに、近年の自治体における建築士不足の状況について語り、「建築士の業務への期待は増している。資格を有益に使ってほしい」とした。

公告

◆工事
◆業務
◆その他

【東北整備局秋田河川国道事務所】

△秋田管内道路改築技術資料作成業務(一般競争)(総合評価落札方式)

「参加資格」土木関係建設コンサルタント業務の認定者単体ないしJV「工事規模」調査または設計、事業計画など、予算要求、関係機関などの協議、地元説明に関する資料のとりまとめ作成など

2020年1月15日
建設新聞
(秋田会場)